



No.76 2020.9.8

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

朝霧小コミュニティ・スクール Zoom 体験会を終えて

8月21日・28日、9月4日の計3回の朝霧小コミュニティ・スクール Zoom 体験会が終了しました。参加いただいたみなさんありがとうございました。この Zoom 体験会は2部制で、第1部はインストール等初歩からスタートし、第2部は会議を体験といった流れで計画しました。



第1部に参加された地域のみなさんは悪戦苦闘しながらもスムーズにミーティングには参加できるようになり、ミーティングも主催することができるようになりました。こうした研修を先生方が子ども向けに行う日がもうすぐくるんだろうなと思いました。参加いただいた方の中には、「こども夢文庫あさぎり」を運営されている方もおられ、コロナ禍の中での子育て支援等に、Zoom を活用できないか相談してみると言っていました。新たなオンラインを活用したつながりが始まりそうな予感がします。

第2部では会議室に入るだけではということから、第2回からオンライン授業をみんなで体験してみようということになり、3人の朝霧小の先生がオンライン授業にチャレンジされました。国語・体育・社会とまったく白紙の状態からのオンライン授業へのチャレンジでしたが、収穫は多かったです。朝霧小の先生方だけでなく、地域の方や保護者の方、そして同じ中学校区の松が丘小の先生方も一緒にオンライン授業を見ながら、それぞれの立場から感想やご意見をいただけたということは、ポスト・コロナの新たな学びをつくっていく一つのスタイルになるのではと感じました。社会に開かれた授業研究として、オープンな対話の中で新たな学びのスタイルが生み出されていけばいいなと夢が膨らみました。



そして、チャレンジしたから見えてきた技術面の課題だけでなく、教師の中に流れる授業観への囚われも見えたのではと思います。授業を終えて「昔の学校の授業はね」という時代がくるかもしれないですね」といった若い先生の言葉がとても印象的でした。目の前の若い先生がベテランになった時、「私の若い頃は、子どもたちが毎日学校にきて、国語・算数・理科・社会といった勉強を時間割どおり、教室で机を並べて、みんな同じ勉強をしていたんだよ」といった思いで話をしているかもしれません。今、私たちはそれくらい教育の大きな転換点に立っているのではと感じています。それは学校だけでなく、社会全体の仕組みの中でおこる変化だと考えます。

また、9月7日は暴風警報により学校が臨時休業になりましたが、朝霧の Zoom 体験を行ってオンラインを活用する準備を始めてもいいのではと思っています。いざという時に備え HP にオンラインのマニュアルだけでも Up しておいてもいいのかなと思います。

地域でこうしたオンライン体験をと思われたらご相談いただけたらと思います。

(文責：北本)